（別添）

１．アル・シャバーブ（別名：(a)アル・シャバブ、(b)シャバーブ、(c)ザ・ユース、(d)ムジャヒディン・アル・シャバーブ・ムーブメント、(e)ムジャヒディーン・ユース・ムーブメント、(f)ムジャヒディン・ユース・ムーブメント、(g)エム・ワイ・エム、(h)ハラカト・シャバブ・アル・ムジャヒディン、(i)ヒズブル・シャバーブ、(j)ヒズブル・シャバーブ、(k)アル・シャバーブ・アル・イスラミヤ、(l)ユース・ウィング、(m)アル・シャバーブ・アルイスラーム、(n)アル・シャバーブ・アルジハード、(o)ザ・ユニティ・オブ・イスラミック・ユース、(p)ハラカト・アル・シャバーブ・アルムジャーヒディーン、(q)ハラカトゥル・シャバーブ・アル・ムジャーヒディーン、(r)ムジャーヒディーン・ユース・ムーブメント）
AL-SHABAAB（a.k.a.:(a) AL-SHABAB (b)SHABAAB (c)THE YOUTH (d)MUJAHIDIN AL-SHABAAB MOVEMENT (e)MUJAHIDEEN YOUTH MOVEMENT (f)MUJAHIDIN YOUTH MOVEMENT (g)MYM (h)HARAKATSHABAB AL-MUJAHIDIN (i)HIZBUL SHABAAB (j)HISB'UL SHABAAB (k)AL-SHABAAB AL-ISLAMIYA (l)YOUTH WING (m)AL-SHABAAB AL-ISLAAM (n)AL-SHABAAB AL-JIHAAD (o)THE UNITY OF ISLAMICYOUTH (p)HARAKAT AL-SHABAAB AL-MUJAAHIDIIN (q)HARAKATUL SHABAAB AL MUJAAHIDIIN (r)MUJAAHIDIIN YOUTH MOVEMENT）

活動地域：ソマリア

アル・シャバーブは、2008年8月18日のジブチ合意又は政治的プロセスを脅かす行動、及び、ソマリア暫定連邦機構（TFIs）、アフリカ連合ソマリア・ミッション（AMISOM）、又はソマリアに関連する他の国際的な平和維持活動を脅かす行動にとどまらず、直接的又は間接的にソマリアの平和、安全、安定を脅かす行動に関与してきた。

アル・シャバーブは、また、ソマリアへの人道支援の提供、あるいはソマリアにおける人道支援へのアクセスやその分配を妨害してきた。ソマリアに関する決議第751号（1992年）に従って設立された安全保障理事会の委員会の議長による2009年7月29日の安全保障理事会に対する声明によると、アル・シャバーブ及びヒズブル・イスラムは、暫定連邦「政府」（TFG）及びAMISOMに対する攻撃の犯行を繰り返し公に認めている。また、アル・シャバーブは、TFG職員の殺害の犯行を認めており、2009年7月19日には、ベイ地方及びバクール地方において、決議第1844号（2008年）の主文8（c）に違反し、UNPOS、UNDSS及びUNDPの現地事務所を襲撃し、閉鎖させている。また、アル・シャバーブは、ソマリアにおける人道支援へのアクセスやその分配を繰り返し妨害してきた。2009年7月20日付のソマリア情勢に関する国連事務総長の国連安保理報告書は、ソマリアにおけるアル・シャバーブの活動に関係する以下のパラグラフを含んでいる。

アル・シャバーブ等の反乱集団は、民間企業から金銭を脅し取り、少年兵を含む若年層を

モガディシュの「政府」に対する攻撃に加担させるためにリクルートしたと言われている。アル・シャバーブは、組織内幹部に外国人戦闘員がいることを認め、ソマリア政府駆逐のため、モガディシュでアル・カーイダと協力していると公言している。その多くがパキスタン及びアフガニスタン出身と言われる外国人戦闘員は良く訓練され、そして戦闘経験があるように見られる。彼らは、頭巾を被り、モガディシュや近隣地域において、政府軍に対する攻撃活動を指揮していることが観察されている。アル・シャバーブは、注意深く選ばれた効果の大きい暗殺及び、何名かは殺害されることとなった氏族の長老の拘束に反映されているように、ソマリア国民を支配し脅迫するための戦略を強化している。2009年6月19日、オマール・ハシ・アデン「国家治安大臣」がベレトゥウェインにおいて大規模な自爆車両爆発で殺害された。この攻撃で30名以上が殺害され、国際社会及びソマリア社会の幅広い横断層から強く非難された。2008年12月の国連安全保障理事会ソマリア・モニタリング・グループ報告書(2008／769)によれば、アル・シャバーブは過去数年間、以下を含むソマリア内における様々な攻撃の責任を負っている。

- 2008年9月の世界食糧計画に勤務していたソマリア人運転手の殺害及び斬首
- 2008年2月6日に死者20名、負傷者100名以上を出したプントランドの市場での爆発
- 2006年の国会議員選挙の混乱を意図したソマリランドにおける一連の爆弾攻撃及び標的を定めた殺害
- 2003年及び2004年の複数の外国人援助従事者の殺害

報告によれば、アル・シャバーブは、2009年7月20日、ソマリアにおける国連施設を襲撃し、アル・シャバーブ支配地域からの国連3機関の追放を宣告した。これに加えて、2009年7月11日から12日、ソマリア暫定連邦政府軍は、アル・シャバーブ及びヒズブル・イスラムの兵士と戦い、この結果60名以上が死亡した。7月11日の戦闘では、アル・シャバーブは、ヴィラ・ソマリアの中に4発の迫撃砲を撃ち、この結果アフリカ連合ソマリア・ミッション（AMISOM）兵士3名が死亡、8名が負傷した。

2009年2月22日の英国放送協会の記事によれば、アル・シャバーブは、モガディシュのアフリカ連合の軍事基地に対する自爆車両攻撃の犯行を認めている。同記事によれば、アフリカ連合は、平和維持部隊隊員11名の死亡、他15名の負傷を確認している。

また、2009年7月14日のロイターの記事によれば、アル・シャバーブ戦闘員は、ソマリア及びアフリカ連合軍に対するゲリラ的攻撃を2009年に増加させている。2009年7月10日のボイス・オブ・アメリカの記事によれば、アル・シャバーブは2009年5月、ソマリア「政府軍」に対する攻撃に関与した。

また、2009年2月27日の外交問題評議会のウェブサイトに投稿された記事によれば、アル・シャバーブは、2006年以来、ソマリア暫定「政府」及びそのエチオピアの支援者に対する反乱に報酬を与えている。アル・シャバーブは、AU平和維持部隊の展開以来、右部隊に対する破壊的攻撃により、11名のブルンジ人兵士を殺害しており、また、アル・シャバーブは激しい戦闘を行うことで、モガディシュにおいて、少なくとも15名を殺害したと表明している。

2．ヤシン・アリ・バイナフ（別名：(a)アリ、ヤシン・バイナフ、(b)アリ、ヤシン・モハメド、(c)バイナフ、ヤシン、(d)バイナフ、ヤッシン、(e)バイナフ、ヤシーン・カリ、(f)ベーナフ、ヤシン、(g)ベーナフ、ヤッシン、(h)ベーナフ、ヤシン、(i)ベーナフ、ヤッシン、(j)ベナフ、ヤシン、(k)ベナフ、ヤッシン、(l)ベナフ、ヤッシン、(m)ベイナフ、ヤシン、(n)ビナフ、ヤッシン、(o)カリ、ヤシーン・バイナフ）

Yasin Ali Baynah (a.k.a.:(a)ALI, Yasin Baynah (b)ALI, Yassin Mohamed (c)BAYNAH, Yasin (d)BAYNAH, Yassin (e)BAYNAX, Yasiin Cali (f)BEENAH, Yasin (g)BEENAH, Yassin (h)BEENAX, Yasin (i)BEENAX, Yassin (j)BENAH, Yasin (k)BENAH, Yassin (l)BENAX, Yassin (m)BEYNAH, Yasin (n) BINAH, Yassin (o)CALI, Yasiin Baynax)

活動地域：スウェーデン（リンケビー、ストックホルム）、ソマリア（モガディシュ）
生年月日：1965年12月24日
国籍：ソマリア
別の国籍：スウェーデン

ヤシン・アリ・バイナフは、暫定連邦「政府」（TFG）やアフリカ連合ソマリア・ミッション（AMISOM）に対する攻撃を扇動した。同人は、また、ジブチ合意の拒絶や、モガディシュにおけるTFG及びAMISOMへの攻撃を含む、ソマリアの平和と安定を脅かす行動に積極的に関与しているソマリア再解放同盟及びヒズブル・イスラムの代わりに、支援を動員し資金集めを行っている。

3．ハッサン・ダヒル・アウェイス（別名：(a)アリ、シェイク・ハッサン・ダヒル・アウェイス、(b)アウェス、ハッサン・ダヒル、(c)アウェス、シャイク・ハッサン・ダヒル、(d)アウェイエス、ハッサン・ダヒル、(e)アウェイス、アフメド・ダヒル、(f)アウェイス、シェイク、(g)アウェイス、シェイク・ハッサン・ダヒル、(h)ダヒル、アウェイス・ハッサン、(i)イブラヒム、モハンメド・ハッサン、(j)ウワイス、ハッサン・ターヒル、(k)ウワイス、ハッサン・ターヒル、(l)“ハッサン、シェイク”）

Hassan Dahir Aweys (a.k.a.:(a)ALI, Sheikh Hassan Dahir Aweys (b)AWES, Hassan Dahir (c)AWES, Shaykh Hassan Dahir (d)AWEYES, Hassen Dahir (e)AWEYS, Ahmed Dahir (f)AWEYS, Sheikh (g)AWEYS, Sheikh Hassan Dahir (h)DAHIR, Aweys Hassan (i)IBRAHIM, Mohammed Hassan (j)OAIS, Hassan Tahir (k)UWAYS, Hassan Tahir (l)"HASSAN, Sheikh")

活動地域：ソマリア
生年月日：1935年
市民権：ソマリア

国籍：ソマリア

ハッサン・ダヒル・アウェイスは、一般的かつ完全な武器禁輸の度重なる違反並びに／又はジブチ和平合意、暫定連邦「政府」（TFG）及びアフリカ連合ソマリア・ミッション（AMISOM）軍を脅かす行為の責任を有する様々な反体制武装集団の高位の政治的及びイデオロギー的指導者として活動している。2006年6月から2007年9月の間、アウェイスは、イスラム法廷連合の中央委員会議長を務め、2008年7月、同人は、ソマリア再解放同盟ソマリア－アスマラ派議長就任を宣言し、2009年5月、TFGに対抗する集団の同盟であるヒズブル・イスラムの議長に任命された。これらの立場で、アウェイスの言動及び行動は、TFGを分裂させ、AMISOMを武力でソマリアから追放しようとする絶対的かつ継続的な意図を示した。
※同人は、外務省告示平成22年第260号別表(アル・カーイダ、タリバーン及び関連個人・団体に関する国連安保理決議第1267号、同第1333号及び同第1390号に基づく資産凍結等の措置の対象リスト)の268と同一人物である。

4．ハッサン・アブドゥッラー・ヘルシー・アル・トゥルキー（別名：(a)アル・トゥルキー、ハッサン、(b)トゥルキー、ハッサン、(c)トゥルキー、ハッサン・アブドゥッラーヒ・ヘルシー、(d)トゥルキー、シェイク・ハッサン、(e)ヒルシー、ハッサン・カブドゥッラーヒ、(f)ヒルシー、ハッサン・カブドゥッラー）

Hassan Abdullah Hersi Al-Turki (a.k.a.:(a)AL-TURKI, Hassan (b)TURKI, Hassan (c)TURKI, Hassan Abdillahi Hersi (d)TURKI, Sheikh Hassan (e)XIRSI, Xasan Cabdilaahi (f)XIRSI, Xasan Cabdulle)

活動地域：ソマリア
生年月日：1944年頃
出生地：エチオピア・オガデン地方
国籍：ソマリア

ハッサン・アブドゥッラー・ヘルシー・アル・トゥルキーは1990年代半ば以降、武装集団の高位の指導者の一人であり、多くの武器禁輸違反に関与してきた。2006年、アル・トゥルキーは、イスラム法廷連合によるモガディシュ奪取に軍隊を提供し、アル・シャバーブと同盟を結ぶ同集団の軍事指導者として頭角を現した。2006年以降、アル・トゥルキーは、自身の支配下にある区域をアル・シャバーブを含む様々な武装反対勢力の訓練のために提供している。2007年9月、アル・トゥルキーは、自身の指導下での軍事訓練を映し出すアルジャジーラのニュースのビデオに登場した。

５．アフメド・アブディ・アウ・モハメド（別名：(a)アブ・ズベイル、ムクタル・アブディラフマン、(b)アブズバイル、ムクタル・アブドゥルラヒム、(c)アウ・モハンメド、アフメド・アブディ、(d)アウ・モハムド、アフメド・アブディ、(e)“ゴダネ”、(f)“ゴダニ”、(g)“ムクタル、シャイク”、(h)“ズベイル、アブ”）
Ahmed Abdi aw-Mohamed (a.k.a.:(a)ABU ZUBEYR, Muktar Abdirahman (b)ABUZUBAIR, Muktar Abdulrahim (c)AW MOHAMMED, Ahmed Abdi (d)AW-MOHAMUD, Ahmed Abdi (e)"GODANE" (f)"GODANI" (g)"MUKHTAR, Shaykh" (h)"ZUBEYR, Abu")

生年月日：1977年7月10日
出生地：ソマリア・ハルゲイサ
国籍：ソマリア

アフメド・アブディ・アウ・モハメドはアル・シャバーブの高位の指導者で、2007年12月に組織の軍司令官（emir）に公に任命された。同人は、ソマリア全域にわたり、アル・シャバーブの作戦を統率している。アウ・モハメドは、ジブチ和平合意を外国による陰謀だと非難し、また、2009月5月のソマリアのメディアへの音声収録においては、モガディシュにおける最近の戦闘に、同人の部隊が関与していたことを認めた。

６．フアド・モハメド・カラフ（別名：(a)フアド・モハメド・カリフ、(b)フアド・モハメド・カラフ、(c)フアド・モハンメド・カラフ、(d)フアド・モハメド・カラフ、(e)フアド・モハンメド・カリフ、(f)フアド・カラフ、(g)フアド・ションガレ、(h)フアド・ションゴレ、(i)フアド・シャンゴレ、(j)フアド・ソンガレ、(k)フォウアド・ションガレ、(l)フアド・ムハンマド・カラフ・ションゴレ）
Fuad Mohamed Khalaf (a.k.a.:(a)Fuad Mohamed Khalif (b)Fuad Mohamed Qalaf (c)Fuad Mohammed Kalaf (d)Fuad Mohamed Kalaf (e)Fuad Mohammed Khalif (f)Fuad Khalaf (g)Fuad Shongale (h)Fuad Shongole (i)Fuad Shangole (j)Fuad Songale (k)Fouad Shongale (l)Fuad Muhammad Khalaf Shongole)

国籍：ソマリア
活動地域：ソマリア（モガディシュ）
別の活動地域：ソマリア

カラフは、アル・シャバーブに対する資金援助を行っており、2008年5月、同人は、ソマリアのキスマヨのモスクで2度にわたり、アル・シャバーブのための資金集めの催しを行った。2008年4月、カラフ及び他の数名は、モガディシュにあるエチオピア軍基地及びソマリア暫定連邦「政府」の部隊に対し、爆発装置のついた車両による攻撃を指示した。2008年5月、カ

ラフ及び戦闘員集団は、モガディシュの警察署を攻撃及び占拠し、複数の兵士を殺害及び負傷させた。

7．バシル・モハメド・マハムード（別名：(a)バシル・モハメド・マフムード、(b)バシル・マフムド・モハンメド、(c)バシル・モハメド・モハムド、(d)バシル・モハメド・モハムード、(e)バシル・ヤレ、(f)バシル・コルガブ、(g)グレ・ガプ、(h)“アブ・ムスカブ”、(i)“コルガブ”）
Bashir Mohamed Mahamoud (a.k.a.:(a)Bashir Mohamed Mahmoud (b)Bashir Mahmud Mohammed (c)Bashir Mohamed Mohamud (d)Bashir Mohamed Mohamoud (e)Bashir Yare (f)Bashir Qorgab (g)Gure Gap (h)"Abu Muscab" (i)"Qorgab"）

生年月日：1979年から1982年頃、または1982年
国籍：ソマリア
活動地域：ソマリア（モガディシュ）

バシル・モハメド・マハムードは、アル・シャバーブの軍司令官である。また、マハムードは、2008年の後半時点で、アル・シャバーブの指導者評議会の約10名のメンバー内の一人である。マハムード及び共謀者は、2009年6月10日のモガディシュにおけるソマリア暫定連邦「政府」に対する迫撃砲攻撃を担当した。

8．削除

9．ファレス・モハンメド・マナア（別名：(a)ファリス・マナア、(b)ファレス・モハンメド・マナア）
Fares Mohammed Mana'a (a.k.a.:(a)Faris Mana'a (b)Fares Mohammed Manaa)

生年月日：1965年2月8日
出生地：イエメン・サダー
パスポート番号：00514146 発行地: イエメン・サナア
IDカード番号：1417576; 発行地：イエメン・アルアマナ 発行日：1996年1月7日

フェレス・モハンメド・マナアは、武器禁輸に違反し、ソマリアに武器又は関連物資を、直接的又は間接的に、供給、販売または移送してきた。マナアは、武器売人として知られている。イエメンでは人口を上回る数の武器が流入しているとされるが、2009年10月、イエメン政府は、国内の武器流通を取り締まる努力の一環として、同人を筆頭とする武器商人のブラックリストを公表した。イエメン事情に詳しいコメンテーターで、半年毎の国別報告書の執筆者であり、またジェインズ・インテリジェンス・グループにも貢献する米国人ジャーナリストによると、

「ファリス・マナアは主要な武器売人であり、そのことはよく知られている」とされる。2007年12月のイエメン・タイムズの記事は、同人を「武器商人シェイク・フェレス・マハメド・マナア」と書いている。また、2008年1月のイエメン・タイムズの記事は、同人を「武器貿易人シャイク・ファリス・マナア」と書いている。2008年半ば現在、イエメンは、アフリカの角地域、特にソマリアへの小型船による不法武器貿易の中核として機能し続けている。未確認情報によれば、ファリス・マナアは、ソマリアへの数々の船舶輸送に関与していた。2004年、マナアは、東欧の武器市場からソマリア人兵士に売買されたとされる武器契約に関わった。1992年以降のソマリアに対する国連の武器禁輸措置にもかかわらず、マナアによるソマリアへの武器密輸関与は少なくとも2003年まで遡ることができる。マナアは、2003年、東欧から数千もの武器購入を申し入れ、武器の一部をソマリアで売却する計画を示唆した。

10.　ハッサン・マハト・オマール（別名：(a)ハッサン・フセイン・アダム、(b)ハッサン・マハド・オマール、(c)ハッサン・フセン・アダン、(d)アサン・マハド・クマール、(e)アブ・サルマン、(f)アブ・サルマン、(g)シェイク・ハッサン・フセイン）
Hassan Mahat Omar (a.k.a.:(a) Hassaan Hussein Adam (b) Hassane Mahad Omar (c) Xassaan Xuseen Adan (d) Asan Mahad Cumar (e) Abu Salman (f) Abu Salmaan (g) Sheikh Hassaan Hussein)

生年月日：1979年4月10日
出生地：ケニア・ガリッサ
国籍：エチオピアと思われる
パスポート番号：A1180173（ケニア）　有効期限：2017年8月20日
IDカード番号：23446085
活動地域：ケニア・ナイロビ

ハッサン・マハト・オマールは、ソマリアの平和、安全、及び安定を脅かす行動に従事している。同人はイマーム（導師）で、ナイロビにある非公式のアル・シャバーブ系組織であるマスジド・ウル・アフマールの指導者の一人である。同人はまた、アル・シャバーブ系のウェブサイトalqimmah.netなどを通じて、アル・シャバーブへの新メンバーの勧誘や資金集めに関与している。更に、同人は、アル・シャバーブのチャットルームサイト上で、TFGに対する攻撃を呼びかけるファトワ（勧告）を発出した。

11. オマール・ハンマミ（別名：(a)アブ・マンスール・アル・アムリキ、(b)アブ・マンソール・アル・アムリキ、(c)アブ・マンスール・アル・アムリキ、(d)ウマール・ハンマミ、(e)アブ・マンスール・アル・アムリキ）

Omar Hammami (a.k.a.:(a) Abu Maansuur Al-Amriki (b) Abu Mansour Al-Amriki (c) Abu Mansuur Al-Amriki (d) Umar Hammami (e) Abu Mansur Al-Amriki)

生年月日：1984年5月6日
出生地：米国・アラバマ州
国籍：米国。また、シリア国籍も所持していると見られる。
パスポート番号： 403062567（米国）
社会保障番号：423-31-3021（米国）
活動地域：ソマリア

ソマリア人女性と結婚。2005年にエジプトに居住。2009年にソマリアに移住した。オマール・ハンマミは、ソマリアの平和、安全、及び安定を脅かす行動に従事している。同人はアル・シャバーブの上級メンバーである。同人はソマリアで外国人戦闘員の勧誘、資金管理、賃金支払に関与している。同人は爆発物や戦争全般の専門家と言われる。2007年10月以来、同人はTV報道やアル・シャバーブのプロパガンダ・ビデオに出演している。同人は、アル・シャバーブ戦闘員の訓練ビデオにも出演している。同人はまた、アル・シャバーブの戦闘員となることを呼びかけるビデオやウェブサイトに出演している。

12. 削除

13. アブード・ロゴ・モハンメド（別名：(a)アブード・モハンマド・ロゴ、(b)アブード・セイフ・ロゴ、(c)アブード・モハンメド・ロゴ、(d)シェイク・アブード・ロゴ、(e)アブード・ロゴ・ムハンマド、(f)アブード・ロゴ・モハメド）
Aboud Rogo Mohammed (a.k.a.:(a)Aboud Mohammad Rogo (b)Aboud Seif Rogo (c)Aboud Mohammed Rogo (d)Sheikh Aboud Rogo (e)Aboud Rogo Muhammad (f)Aboud Rogo Mohamed)

生年月日：1960年11月11日、1967年11月11日、1969年11月11日
又は1969年1月1日
出生地：ケニア・ラム島

アブード・ロゴ・モハンメドはケニアを拠点として活動するイスラム過激派の指導者(cleric)であり、ソマリアに関する決議第751号（1992年）及びエリトリアに関する決議第1907号（2009年）に従って設立された安保理制裁委員会によって、直接または間接的にソマリアの平和、安全または安定を脅かす行為に従事する団体として指定されたアル・シャバーブに対して資金、物資、輸送又は技術的な支援を提供することによってソマリアの平和、安全又は安定を脅かしている。同人は、東アフリカ一帯に暴力を促進する宣伝活動の一環として、東アフ

リカ域内で過激派グループに対し影響力を行使している他、アル・シャバーブの資金調達活動も行っている。また同人はアル・ヒジラ（Al Hijra、旧ムスリム・ユース・センター）の主要な思想的指導者として、ソマリアにおける暴力的活動を実行するために主にスワヒリ語を話すアフリカ人を過激化し採用するための経路として過激派集団を使用している。2009年2月から2012年2月の間に実施された一連の煽動講義において、同人は、ソマリアの和平プロセスに対し、暴力による中断を繰り返し呼びかけた。また、同講義において、同人は、ソマリアで活動する国連及びアフリカ連合ソマリア・ミッション（AMISOM）軍に対し暴力を行使するよう繰り返し呼びかけ、聴衆に対し、ソマリアに渡航し、アル・シャバーブに参加してケニア政府と戦うよう呼びかけた。同人は、アル・シャバーブに加わったケニア人新兵に対し、ケニア当局の捜査のかわし方やモンバサやラムからキスマヨを初めとしたソマリア内のアル・シャバーブ拠点への道順についても指導している。また、同人は、アル・シャバーブに加わる非常に多くのケニア人新兵のソマリアへの渡航を手助けした。2011年9月、同人は、ケニアのモンバサにて、テロ活動を行わせるためにソマリアへ渡航させる人の募集活動をしており、2008年9月には同地にてソマリアにおけるアル・シャバーブの活動を支援するための資金集め会合を実施した。

14．アブバケール・シャリフ・アフメド（別名：(a)マカブリ、(b)シェイク・アブバカール・アフメド、(c)アブバケール・シャリフ・アフメド、(d)アブ・マカブリ・シャリフ、(e)アブバケール・シャリフ、(f)アブバカール・アフメド）
（Abubaker Shariff Ahmed (a.k.a.:(a)Makaburi (b)Sheikh Abubakar Ahmed (c)Abubaker Shariff Ahmed (d)Abu Makaburi Shariff (e)Abubaker Shariff (f)Abubakar Ahmed）

生年月日：1962年又は1967年
出生地：ケニア
住所：マジェンゴ地区、モンバサ、ケニア

アブバケール・シャリフ・アフメドはソマリアにおける暴力的軍事活動を実行するムスリム系ケニア人青年層の指導的な世話人であり、採用者であるとともに、アブード・ロゴの親しい関係である。同人はケニア及び東アフリカのその他の地域において過激派グループに物資的支援を行うとともに、キスマヨを含むソマリア国内のアル・シャバーブの拠点への頻繁な渡航を通じて、アル・シャバーブ上層部との密接な関係を維持している。また、ソマリアに関する決議第751号（1992年）及びエリトリアに関する決議第1907号（2009年）に従って設立された安保理制裁委員会によって、直接または間接的にソマリアの平和、安全または安定を脅かす行為に従事する団体として指定されたアル・シャバーブのための資金調達に従事している。同人は、モンバサのモスクにおいて、青年は、ソマリアに渡航し、過激派の活動に加わ

り、アルカイーダのために戦って、米国民を殺害すべきであると説いた。同人は、ナイロビのバス・ターミナルの爆破に関与していた疑いで2010年12月下旬、ケニア当局に逮捕された。また、同人はケニアに拠点を置き、アル・シャバーブと関係を持つモンバサの青年組織の指導者でもある。2010年の時点で、同人はモンバサのマジェンゴ地区において、アル・シャバーブの採用担当者及び世話人として活動していた。

15. マーリム・サルマン（別名：(a)ムアッリム・サルマン、(b)ムアレム・スレイマン、(c)アメール・サルマン、(d)マアッリン・スレイマン、(e)マーリム・サルマン・アリ、(f)マーリム・セルマン・アリ、(g)マアッリン・セルマン、(h)マアッリン・スレイマン）
Maalim Salman (a.k.a:(a)Mu'alim Salman (b)Mualem Suleiman (c)Ameer Salman (d)Ma'alim Suleiman (e)Maalim Salman Ali (f)Maalim Selman Ali (g)Ma'alim Selman (h)Ma'alin Sulayman)

生年月日：1979年頃
出生地：ケニア・ナイロビ
活動地域：ソマリア

マーリム・サルマンは、アル・シャバーブ指導者であるアフメド・アブディ・アウ・モハメド（Ahmed Abdi aw-Mohamed）（別名ゴダネ（Godane））により、アル・シャバーブのアフリカにおける外国人戦闘員の長に指名された。同人は、アフリカにおける外国人戦闘員としてアル・シャバーブに参加しようとする外国人を訓練し、観光客、娯楽施設及び教会を標的としたアフリカにおける作戦に関与してきた。主にソマリア国外の作戦に注力していたが、サルマンはソマリア国内に居住し、外国人戦闘員を国外に送り出す前にソマリアで訓練することで知られている。アル・シャバーブの外国人戦闘員の中には、ソマリア国内で活動する者もある。例えば、サルマンは、アフリカ連合ソマリア・ミッション（AMISOM）による攻勢に対して、アル・シャバーブの外国人戦闘員をソマリア南部に展開するよう指示した。他のテロ攻撃の中で、アル・シャバーブは少なくとも67名が死亡する結果となった2013年9月のケニア・ナイロビのウェストゲート・ショッピングモールにおける攻撃に責任がある。さらに最近、アル・シャバーブは、3名の警備員及び2名の民間人が死亡し、15名が負傷した2014年8月31日のモガディシュにおける国家情報治安庁（National Intelligence and Security Agency）の刑務所に対する攻撃についても犯行を主張している。

16. アフメド・ディリエ（別名：(a)シェイク・アフメド・ウマル・アブ・ウバイダ、(b)シェイク・オマル・アブ・ウバイダハ、(c)シェイク・アフメド・ウマル、(d)シェイク・マハド・オマル・アブディカリム、(e)アブ・ウバイダ、(f)アブ・ディリエ）
Ahmed Diriye (a.k.a:(a)Sheikh Ahmed Umar Abu Ubaidah (b)Sheikh Omar Abu Ubaidaha

(c)Sheikh Ahmed Umar (d)Sheikh Mahad Omar Abdikarim (e)Abu Ubaidah (f) Abu Diriye)

生年月日：1972年頃
出生地：ソマリア
活動地域：ソマリア

アフメド・ディリエは、国連安全保障理事会決議第七百五十一号（1992年）及び同決議第千九百七号（2009年）に基づく安全保障理事会委員会により制裁対象リストに掲載された個人である前指導者であるアフメド・アブディ・アウ・モハメド（Ahmed Abdiaw-Mohamed）の死を受けて、アル・シャバーブの新指導者に任命された。これは、2014年9月6日に発表された、アル・シャバーブ報道官であるシェイク・アリ・ディーレ（Sheikh Ali Dheere）の声明において公表された。ディリエは、これまでアル・シャバーブの幹部の一人であり、指導者として、アル・シャバーブの作戦の指揮権を行使してきた。同人は、ソマリアの平和、安全及び安定を引き続き脅かしているアル・シャバーブの活動に直接的な責任を負う。ディリエは、シェイク・アフメド・ウマル・アブ・ウバイダ（Sheikh Ahmed Umar Abu Ubaidah）とのアラビア語の氏名も使用している。

17. アフマド・イマン・アリ （別名：(a) シェイク・アフメド・イマン・アリ(b) シェイク・アフマド・イマン・アリ (c) アフメド・イマン・アリ (d) アブ・ジニラ）
Ahmad Iman Ali (a.k.a: (a) Sheikh Ahmed Iman Ali (b) Shaykh Ahmad Iman Ali (c) Ahmed Iman Ali (d) Abu Zinira)

生年月日：1973 年頃 、または 1974 年頃
出生地：ケニア
国籍：ケニア

アフマド・イマン・アリは、有名なケニア人アル・シャバーブ司令官であり、2012 年以来、ケニアにおける指導者を務めた。同人は、ケニアにおけるアル・シャバーブの活動を指揮し、2016 年 1 月のソマリアのエル・アッデにおいてケニアのアフリカ連合ソマリア・ミッション（AMISOM）部隊を襲撃したように、ソマリアにおけるケニアの AMISOM 部隊を定期的に標的にしている。また、同人は、2017 年 7 月のケニアの治安部隊に所属しているイスラム教徒を動画で脅迫したように、ケニア政府及び市民を標的とするアル・シャバーブの宣伝の責任者でもある。これらの活動に加え、同人は時にナイロビのスラムで貧しい青年に特化して，アル・シャバーブの新兵の募集にも携わったほか、モスクを活用した資金の調達も行ってきた。同人の総合的な目標は、脅迫、襲撃の計画・実行によりケニアを不安定化させること及びケニアの治安部隊との闘いを若いイスラム教徒に慫慂することである。

18. アブディファタ・アブバカー・アブディ （別名： ムサ・ムハジール）
Abdifatah Abubakar Abdi (a.k.a: Musa Muhajir)

生年月日：1982 年 4 月 15 日
出生地：ソマリア
国籍：ソマリア
住所：ソマリア、またはケニア・モンバサ

2015 年、アブディファタ・アブバカー・アブディは、ケニア政府によりアル・シャバーブのメンバーとして認知されている、またはその疑いのあるテロリストの指名手配者リストに掲載された。ケニア警察は、同人が、国連安全保障理事会ソマリア・エリトリア制裁リストに掲載されている組織であるアル・シャバーブのために、ソマリアにおいてアル・シャバーブを支援する要員を採用し、ソマリアの平和、安全または安定を脅かす活動を行っていると報告している。これらの採用には、ソマリアへ渡ろうとし、ケニア警察に逮捕された3名の女性が含まれている。同人は、多数の命を奪った 2014 年 6 月のケニアのムペケトニにおける襲撃の関連で、指名手配されており、更なる襲撃を計画していると考えられていた。同人はソマリア国外における活動に専従しているとも見られているが、ソマリアに居住し、アル・シャバーブのためにケニアとソマリアとの国境を越えようとする個人を採用していることで知られている。

19. アブカー・アリ・アダン（別名：(a) アブカー・アリ・アデン、(b)イブラヒム・アフガン、(c) シェイク・アブカー）
Abukar Ali Adan (a.k.a: (a)Abukar Ali Aden (b)Ibrahim Afghan (c)Sheikh Abukar)
称号：アル・シャバーブ副指導者
生年月日：1972 年、1971 年又は 1973 年

国連安全保障理事会決議第 1844 号(2008 年)8(a)「2008 年 8 月 18 日のジブチ合意、その政治過程を脅かす行為、ソマリア暫定連邦機関（TFIs）やアフリカ連合ソマリア・ミッション（AMISOM）を力で脅かす行為を含む、ソマリアの平和、安全、安定を脅かす行為に加担ないし支援を行っている」に従ってリストに記載。
アダンは、アル・カイーダ関係者、アラビア半島のアル・カイーダ（AQAP-QDe.129）及びマグレブのアル・カイーダ（AQIM-Qde.014）とも関係がある。同人に対するインターポール（国際刑事警察機構）・国連安全保障理事会特別手配書のウェブ・リンク：
https://www.interpol.int/en/How-we-work/Notices/View-UN-Notices-Individuals

20. マーリム・エイマン（別名：(a)マアリム・エイマン、(b)モアリム・エイマン、(c)ヌー・イブラヒム・アブディ、(d)エイマン・カボ、(e)アブディアジズ・ドゥボウ・アリ）
Maalim Ayman (a.k.a:(a)Ma' alim Ayman (b)Mo' alim Ayman (c)Nuh Ibrahim Abdi (d)Ayman Kabo (e)Abdiaziz Dubow Ali)
称号：ケニア及びソマリアで襲撃・活動を行っている、アル・シャバーブの部隊ジェイシュ・エイマンの創設者・指導者
生年月日：1973 年又は 1983 年

出生地：ケニア
住所：(a)ケニア・ソマリア国境、(b)ソマリア・下ジュバ地域・バダマドウ

国連安全保障理事会決議第 1844 号(2008 年)8(a)「2008 年 8 月 18 日のジブチ合意、その政治過程を脅かす行為、ソマリア暫定連邦機関（TFIs）やアフリカ連合ソマリア・ミッション（AMISOM）を力で脅かす行為を含む、ソマリアの平和、安全、安定を脅かす行為に加担ないし支援を行っている」に従ってリストに記載。
エイマンは、2020 年 1 月 5 日のケニア・ラム郡キャンプ・シンバへの襲撃の準備を支援した。同人に対するインターポール（国際刑事警察機構）・国連安全保障理事会特別手配書のウェブ・リンク：https://www.interpol.int/en/How-we-work/Notices/View-UN-Notices-Individuals

２１．マハド・カラテ（別名：(a)マハド・モハメド・アリ・カラテ、(b)マハド・ワルサメ・カレイ・カラテ、(c)アブディラヒム・モハメド・ワルサメ）
Mahad Karate (a.k.a：(a)Mahad Mohamed Ali Karate (b)Mahad Warsame Qalley Karate (c)Abdirahim Mohamed Warsame)
生年月日：1957 年から 1962 年までの間
出生地：ソマリア・ハラディラ
住所：ソマリア
国連安全保障理事会決議第 1844 号(2008 年)8(a)「2008 年 8 月 18 日のジブチ合意、その政治過程を脅かす行為、ソマリア暫定連邦機関（TFIs）やアフリカ連合ソマリア・ミッション（AMISOM）を力で脅かす行為を含む、ソマリアの平和、安全、安定を脅かす行為に加担ないし支援を行っている」に従ってリストに記載。
カラテは、150 名近くが死亡した 2015 年のケニア・ガリッサ大学襲撃を行った、アル・シャバーブの一翼であるアムニヤットにおいて、重要な役割を果たした。アムニヤットはアル・シャバーブの諜報機関の一翼であり、ソマリア、ケニア、地域のその他の国々における自爆テロや暗殺において重要な役割を果たしており、アル・シャバーブのテロ活動の後方支援や援助を提供している。同人に対するインターポール（国際刑事警察機構）・国連安全保障理事会特別手配書のウェブ・リンク：https://www.interpol.int/en/How-we-work/Notices/View-UN-Notices-Individuals